

## 92 愛でる桜は美しい

まちづくり



受賞者：なし  
 推薦者：山田 秀夫 さん

### 【推薦コメント】

「六郷さくら通り」（元和泉1～2丁目）は、かつての狛江市政の六郷用水で、昭和40年代に埋め立てられて道路となっており、取水口跡から狛江駅までの道は、春は桜に彩られる。現代では、西河原公民館から田中橋交差点までの「六郷さくら通り」の両側には、約60本の“愛でる桜は美しい”です。桜並木が連なる散歩道には、西河原自然公園、むいから民家園、児童公園、西河原公民館、あいとぴあセンターなどがあり、途中で休んだり、遊んだり、学んだりなど、十分に楽しめる事が出来るので、「狛江のまち—魅力百選」に相応しく、推薦致します。

### 【講評】

六郷さくら通りは市の西部を東西に結ぶ道路です。以前は「福祉会館通り」と呼ばれていましたが、福祉会館があいとぴあセンターと改称されたのを機に「六郷さくら通り」へと名前が変わりました。かつては灌漑用水として慶長2年から慶長14年（1597年から1609年）にかけて開削された六郷用水でしたが、多摩川下流地域の宅地化が進み、灌漑用水の必要がなくなったことと、多摩川砂利の採掘と流量の減少による水位の低下から六郷用水に流入する水量も少なくなり、重要性は低くなっていきました。そこで昭和42年に当時の狛江町の下水道計画に合わせて、上を道路、下を下水道という形で埋め立てが行われました。

春になれば両側にたくさんの桜が咲き誇り、市民の目を楽しませてくれます。今後も市民の憩いの通りとなることを願い、選定いたしました。